



日本共産党 京都市会議員
ひぐち英明
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください!

こんにちは ひぐち英明です

HP: [ひぐち英明](#)

検索

第314号 2017年5月1日

連絡先: 日本共産党左京地区委員会 TEL761-6341

: 左京生活相談所

TEL781-6622

民泊相談窓口の廃止で遅れる対応

～職員削減ありきの方針が市民生活に悪影響～



党市議団で「医療衛生センター」を視察

京都市内では、民泊の相談が日増しに増えています。左京では南部が中心ですが、修学院学区でも相談が寄せられています。

ところが京都市

は、「京プラン」の職員削減方針に基づき、4月から、区役所で民泊の相談を受けていた窓口を廃止し、京都市内1カ所だけ(京都市医療衛生センター)にしてしまいました。京都市の言い分では、「それまで他の業務も兼ねた職員だったが、民泊などの宿泊施設だけに対応する職員を19人配置したから、対策の強化につながる」というものでした。ところがです。広大な市域をたった19人で対応しようというのですから、相談が寄せられてもすぐに現地に職員が行くということになっていません。

職員削減ありきの方針が、ここでも市民生活に悪影響を及ぼしています。

宝ヶ池トンネルでコンクリート片落下事故 他のトンネルも緊急点検へ



コンクリート片落下事故のあった宝ヶ池トンネル

4月9日に左京区の宝ヶ池トンネルでコンクリート片の落下事故があり、一時通行止めになりました。調査の結果、落下したのは、30年ほど前に水漏れなどを補修した個所とのこと。落下したところ以外にも、同様の補修が数カ所

あったので、補修に使われていたモルタルなどをはがす作業が行われました。これはあくまでも応急措置で、今後、適正な補修方法の検討を行うとのこと。

宝ヶ池トンネル以外のトンネルについても、京都市が管理する17のトンネルを5月下旬から10月頃までかけて、しっかりと点検するとのこと。

とりあえず、点検の見通しが立ったことは大きな前進ですが、不具合が見つかった場合でも宝ヶ池トンネルでの対処と同様で、とりあえず削り落とす予算しかないとのことなので、今後の対策も含めた検討が急がれます。

京建労左京支部定期大会

「賃上げの実現を」と連帯あいさつ

全京都建築労働組合左京支部の第49回定期大会に、みつなが府議加藤市議、ちさか拓晃衆議院京都2区国政委員長と一緒に参加しました。



連帯のあいさつでは、公共事業の現場労働者の賃上げの具体化の議論をしている様子を少し詳しくに報告しながら、賃金単価の引き上げ、くらしの予算の充実のために奮闘する決意を述べました。

写真トピックス



↑ 京都弁護士会主催の「共謀罪の制定を阻止する市民集会」

戦争法廃止・左京みんなのデモ↓



↑ テロ等準備罪=共謀罪を廃案にと各地で宣伝 →

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

次女(中学1年)が中学生になり、部活見学にあちこち行っていました。入部したのは、長女(高校3年)と長男(高校2年)と同じ吹奏楽部。目下の悩みは、小学生の頃から続けてきたピアノとダンスを続けられるかどうかということ。

勉強とクラブ活動と趣味の活動と、すべて経験できるくらいの余裕を持った生活ができればいいとは思っていますが、中学校生活はなかなかそれを許してくれそうにありません。何をどう選んだらいいのか。次女は決断を迫られています。